# 外来日記　　一二二

橋本クリニック　橋本雄二

『腰椎側弯症と体の動き』　その２

日本での側弯症の発生頻度は１～２％で、その８～９割は「特発性側弯症」と呼ばれ原因不明の側弯症です。１０歳以降に発症し、その多くは女性で胸椎は右に側弯します。成長期に進行し、骨成長が成熟期に達すると側弯の進行も止まります。成長とともに代償的に腰椎が左へ側弯し、正面から見てＳ字状になって全体のバランスを保つようになります。日常生活で様々な症状が出やすくなります。

【症例】３９歳　女性

５年ほど前から右仙腸関節痛。仙腸関節治療で有名なJGHO仙台病院整形外科で仙腸関節ブロック治療を受けている。両膝関節痛と頚部痛も強い。埼玉県在住で実家のある仙台に毎月治療に来ていた。ブロック注射で数日は調子良いが徐々に症状再発していた。母親が当院で治療していて一緒に受診した。

日常生活で、椅子に座っての脚組は右脚が上にくる。床での横座りは両足を左に流す。左肩が下がっていて左肩紐が落ちて服が脱げやすい。起床時に右から起き難い。腰部痛は右仙腸関節のピンポイント。

腰椎X-P　腰椎左側弯症（図１）

胸椎X-P　下部胸椎の右側弯症（図２）

股関節・仙腸関節には特別な所見は認めない。

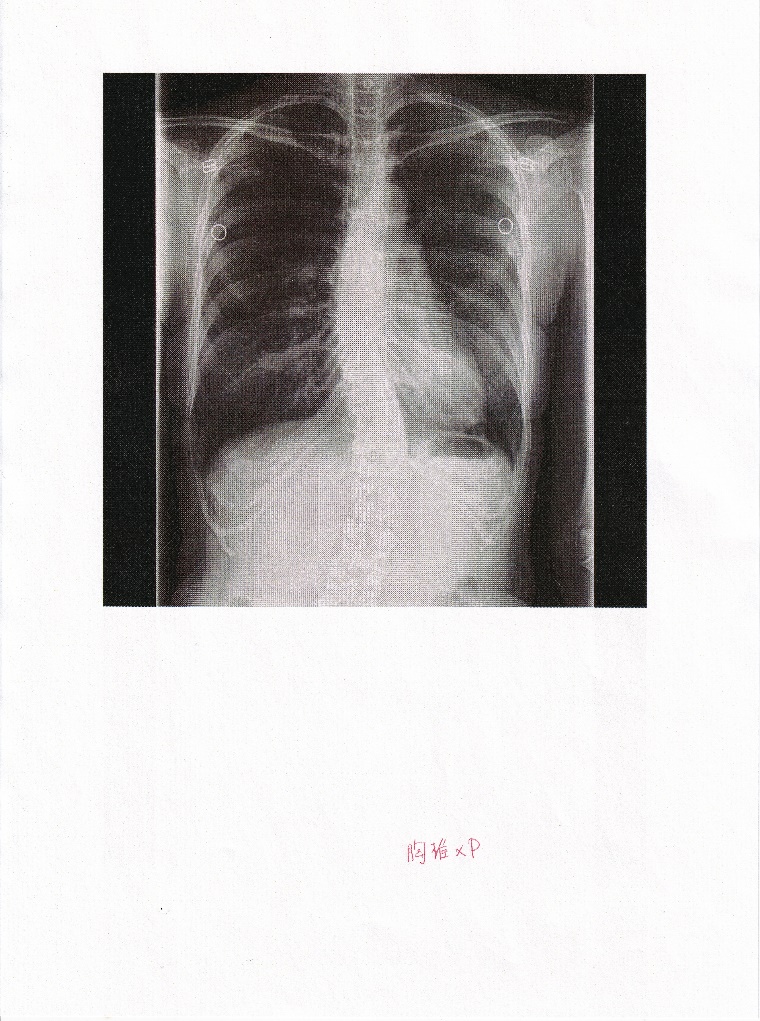


図1 腰椎XP

図2 胸椎XP

【操体法】

膝窩の圧痛：両（+）右＞左

膝倒し：左が楽

踵伸ばし：右が楽

　３種類の操体法を指導。毎日の実践を勧める。自覚症状は改善傾向。当院で治療後JGHO病院受診は中止している。

腰痛などで整形外科を受診し、レントゲン写真で側弯症を指摘されることがあります。皆さん写真を見ると驚くのですが、自覚症状の無い方もかなりいらっしゃいます。脊椎の変形の範囲内で無理せず生活していると思われます。骨格の変形は今までの生活の結果で、変形によって痛みが出るわけではありません。